

Q5 IADL 訓練の意義を感じる時はどんな時ですか？

A5 難しくなっていた動作ができるようになり喜んでいて姿を見た時や、諦めていたことが一部の動作を介助することで作業に参加できることが分かり、意欲的にリハビリに取り組まれたりすることに意義を感じます。

A5 障害により家庭内および社会的な役割を担えなくなると、生活に対する意欲の低下、そして心身機能の低下に繋がります。障害によって失われた役割を再び IADL 訓練を通じて獲得することが、患者さん自身の QOL の向上に繋がります。実際の訓練場面では、日頃の病棟ではみることができない表情や行動を垣間見ることがあります。IADL はその人らしさを表現する一部といっても過言ではないかもしれません。

取材を終えて



リハビリを通じて、退院後の日常生活に自信が持てたり、できないことを再認識できたりするので、やはり IADL 訓練は大切なのだと感じました。できなかったことができるようになることが患者さまの回復への意欲を高めることにつながるんですね。お忙しい中、取材に協力していただきありがとうございました。

Ver2.0 半側空間無視の トレーニング

このトレーニングは、部屋中を飛び交っているハエをたたいて、右側、左側がどのくらい注意を向けられていないかを確認できます。

それ以外に上肢機能トレーニングとしてもお使いいただけます。ハエをたたくとバシツという音がして、楽しく取り組んでもらえる一番人気のトレーニングです。

トレーニングをするにあたって



以下の点に注意して行ってください。

- 回転しない椅子に座って行ってください。
- できるだけ両手を使ってハエをたたいてください。

※ハエたたきのトレーニングは、コントローラーを使うと「ハエたたき」を持っている感じになるのでおすすめです。ストラップを手首に通して、写真のように握ります。ボタン操作は不要です。



半側空間無視のトレーニング



エリア全体のハエをまんべんなくたたきようにトレーニングします。(左図の白い線は実際の映像には表示されません)

● 患者さまの現在の半側空間無視の程度を確認でき、今後のリハビリに活用できます。

● 見落としがあるエリアのハエに注意を向けられるように声をかけながらトレーニングしてください

上肢機能トレーニング

体全体を使って、できるだけたくさんのハエをたたきます。制限時間内にたくさんたたいてください。

結果

トレーニングが終わったら、結果画面が表示されます。エリア別にたたいたハエの数が表示されます。

結果発表		
叩いた虫の数		
0	6	5
1	8	12
1	6	8

次は頑張りましょう

半側空間無視のトレーニングとして使う場合は、9つのエリアをまんべんなくたたいたほうがよいです。

上肢機能のトレーニングとして使う場合は、たくさんたたきほど高評価になります。

学会発表の お知らせ



トレーニングに関する情報やアドバイス等のご協力いただいている今田泰裕さんが、日本作業療法士協会主催の学会で iADVISOR の研究結果、「没入型バーチャルリアリティ技術を用いて外出・買い物動作の評価を行った左同名半盲の一例」というテーマで発表をされます。

「第 56 回日本作業療法学会」 ・発表待機日時：9月17日(土) 10時10分～11時10分

・場所：国立京都国際会館 第2会場